

☀️ 太陽光発電設備導入のモデルケース

モデルケースの概要

以下の内容で太陽光発電設備を設置

一般的な家庭の電気使用データ

期間	1ヵ月	1年
電気使用量	260kWh	3,120kWh
電気代	8,639円	103,668円

太陽光発電設備導入費用データ

導入容量	4kW
設置費用	1,157,200円
うち町補助金	701,000円
うち負担額	456,200円

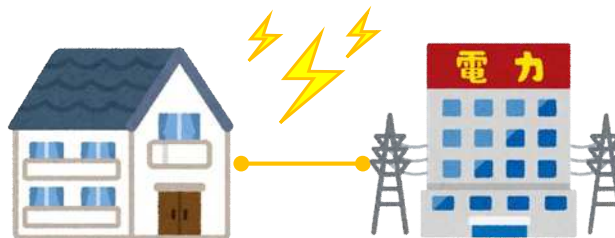
- ※上記は一般的・平均的な値を用いた算定
- ※一般的な家庭の導入容量は3~5kW
- ※設置費用は全てが補助対象の経費と仮定
- ※設備の一般的な耐用年数は次のとおり
PCS (パワーコンディショナー) 10~15年
太陽光パネル 20~30年
- ※各数値は状況や条件によって変化します
あくまで参考資料としてご覧ください
- ※実際に導入に向けた算定をされたい場合は
設置事業者にご相談いただくようお願いします

左記を元に町補助金活用なし・ありでケース分けし、20年間の発生費用を整理

※令和6年度補助事業の実績を元に電気代及び売電価格を算定 (単価等はR7.4月時点の値)

※導入後の費用 (10年目PCS更新、20年目太陽光パネル廃棄) を含む

太陽光発電設備を導入しない場合



総支出 (電気代のみ)	
10年目	1,036,680円
15年目	1,555,020円
20年目	2,073,360円

ケース①太陽光発電設備導入 (町補助金なし)



総支出 (設備費・電気代・売電収益など)	
10年目	1,399,794円
15年目	1,533,389円
20年目	1,816,984円

ケース②太陽光発電設備導入 (町補助金あり)



総支出 (設備費・電気代・売電収益など)	
10年目	893,760円
15年目	1,012,540円
20年目	1,281,320円

→ 「太陽光発電設備を導入しない場合」と比較して

補助金を活用して太陽光発電設備を導入すると「お得」な結果が想定されます

※特に10~15年で交換するPCS更新をしっかりと実施することでメリットが出ます
導入の際は設置事業者と将来的なご予定についてもご確認ください